

全国学力テスト

県内1万4000人臨む

小6中3 結果7月公表

小学6年と中学3年を対象にした文部科学省の全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)が17日、国語、算数・数学、理科の3教科で一斉に行われた。県教委によると県内では276校の1万3895人が臨んだ。結果は7月末に公表される。

【8面に関連記事、18〜26面に問題と正答例、出題の狙い】

(小林真也)



全国学力テストの問題冊子の配布を待つ生徒。17日、福井市足羽一中

理科は2012年度から3年に1度行われており、3回目。国語と算数・数学は基礎知識を問うA問題と、知識の活用を見るB問題に分けて行われた。県内276校の内訳は、小学校が公立193校(うち特別支援4校)、国立1校の計194校、中学校は公立78校(うち特別支援3校)、国立1校、私立3校の計82校。県義務教育課によるとトラブルはなかった。

福井市足羽一中では86人が挑んだ。午前8時45分に最初の国語Aの問題冊子が配られると、生徒は表紙に書かれた

福井新聞HPに問題と解答

注意点を読み、開始の合図を静かに待っていた。

文科省による結果の公表は例年8月下旬だったが、教員が夏休み中に分析して授業の改善を図れるよう今回から約1カ月前倒しする。

これに先立ち県教委は県内児童生徒各500人のサンプルを集めて独自に正答率の傾

向を分析し、5月上旬に結果を各学校に伝える。分析結果などを基に問題集を作って夏休み中に各学校に配り、過去10回連続で全国トップレベルを維持している児童生徒の学力向上に役立てる。

17年度の公立校の平均正答率を都道府県別にみると、福井県は小学6年が国語A、B4位、算数A3位、算数B2位。中学3年が国語A1位、国語B2位、数学A、B1位だった。